

蛍光灯製品について

注意事項

ランプを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



警告

- ランプの取り付け、取り外しや清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



注意

- 落としたり、ものをぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損した場合、落下やガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 適合した安定器、器具、ソケットを必ず使用してください。安定器、器具、ソケットの過熱、発煙の原因となることがあります。また、不点灯、短寿命、チラツキの原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに破棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電、破損、落下、ケガの原因となることがあります。(イーブズ用シームレスラインは軒下で使用できます。)
- ランプ取付時は、ソケットおよびランプホルダーに確実に取り付けてください。ランプが落下し破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となることがあります。
- シームレスラインランプをご使用の場合、器具付属のワイヤーホルダーを必ず使用してください。ランプ落下によるケガの原因となることがあります。
- シームレスラインランプの取り付け、取り外しは、ランプ両端の口金付近を持っておこなってください。また、取り付け時は、口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの破損、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。(図1、2)

- 紙や布などでおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となることがあります。(図3)

- 酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。落下、口金腐食、漏電の原因となることがあります。

- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。落下、破損によるケガ、ランプの短寿命の原因となることがあります。

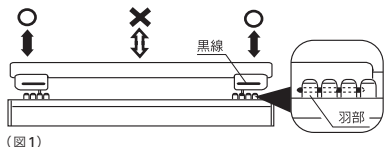
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。

- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。

- ランプ口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。

- BLBランプは退色を避けたい場合には、使用しないでください。被照射物が紫外線により退色・劣化の原因となることがあります。

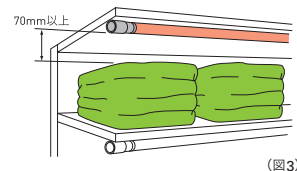
- BLBランプは長時間皮膚に当たらないでください。皮膚の炎症をおこす原因となることがあります。



(図1)

装着図	完全装着状態		不完全装着状態		
	黒線 羽部	黒線 羽部	黒線 羽部	黒線 羽部	黒線 羽部
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯	点灯

(図2)



(図3)

ご使用上の注意

- 周囲温度は5°C~40°Cの範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、短寿命、不点灯、チラツキ、破損の原因となることがあります。シームレスラインランプについては、通気性の悪い周囲温度40°C付近での長期のご使用は、口金接着剤の経年劣化により口金外れの原因となることがあります。
- 電源電圧が低い場合(定格入力電圧の94%より低い)はランプが点灯しなかったり、短寿命の原因となることがあります。
- 人感センサーなどのスイッチで点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。(エースラインランプで調光・点滅用安定器との組み合わせで使用してください。)
- 初めて点灯したとき、電極付近が黒くなることがありますが、しばらく点灯しておくくと消えます。
- エースラインランプ(FLR)、イーブズ専用(FRT・S)には近接導体のアルミテープがついています。キズをつけたり、はがしたりしないでください。チラツキや不点灯の原因となることがあります。
- 強い風が当たる場所では避けてください。風のあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あつるとチラツキの原因となることがあります。
- 寿命末期のランプを長期間通電するとフィラメント付近が高温となるため、周囲の造営材へ熱影響を及ぼす原因となります。不点灯またはランプ端部が著しく黒化した寿命末期のランプは早めに交換してください。(コールドケースランプは、ジャケットごと交換してください。)
- ランプには点灯に必要な金属粒が封入してあります。ランプを振ると音がしますが異常ではありません。
- 電源波形の歪みや変動があるときは、ランプにチラツキが発生する場合があります。
- ランプは造営材から6mm以上離して取り付けてください。造営材への熱影響により発煙、発火の原因となることがあります。
- 電磁安定器との組み合わせにおいて、通気性の悪い周囲温度40°C付近で点灯中のランプを消灯させ再点灯した場合に正常に点灯しないことがあります。このような場合は、一度電源を切り、しばらくたってから電源を入れなおしてください。
- 退色を避けたい場合には、紫外線カットランプ(NU・P)を使用してください。